

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 421 事業名 環境衛生検査事務（水質検査等を実施）

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
取組	2	衛生研究所機能の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		保健衛生費
	目		衛生研究所費
	大事業		衛生研究所事業
	事項		環境衛生検査事務

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	S 5 2 ~		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	衛生研究所	森野 吉晴 (453-0055)	
関連課	環境政策課等		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実	○	道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実	○	美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	市内の工場・事業場排水及び公共用水域（河川、地下水等）の水質分析を実施することにより、汚濁発生源である工場・事業場の規制・監視・指導に役立てると共に、公共用水域の状況把握による環境行政の指標を示すことで、市民の健康及び生活環境の保全を図ることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 環境政策課等からの行政依頼による検査。 工場・事業場等の排水の試験検査。（年間計画） 公共用水域の水質試験検査。（年間計画） ゴルフ場排水の農薬試験検査。（年間計画） 地下水汚染調査の試験検査。（年間計画） 苦情処理のための特殊水質検査。 一般依頼による環境水等の特殊水質検査。 その他健康危機管理に対応するための調査研究及び研修に関すること。 				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		行政検査計画に基づく検査及び一般依頼による水質等検査を行った。	行政検査計画に基づく検査及び一般依頼による水質等検査を行った。	行政検査計画に基づく検査及び一般依頼による水質等検査を行った。		

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	4,541	4,603	4,806	4,871	4,284	6,799	4,125		4,125		
	伸び率 (%)	-	-	5.8%		-10.9%		-3.7%		0.0%		
	人件費	常勤職員	25,196	23,912	25,196	23,426	23,426	20,636	20,636		20,636	
		非常勤職員	2,409	1,367	2,409	1,340	1,340	1,319	1,319		1,219	
		小計	27,605	25,279	27,605	24,766	24,766	21,955	21,955		21,955	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
その他	326	207	326	440	314	645	314		314			
一般財源（税等）	4,215	4,396	4,480	4,426	3,970	6,154	3,811		3,811			
所要人数	常勤職員	3.29	3.12	3.29	3.1	3.1	2.73	2.73		2.73		
	非常勤職員	1.38	0.67	1.38	0.64	0.64	0.63	0.63		0.63		

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	検査実施項目数（環境衛生検査）				年度目標値					
					実績値	6,764	6,851	6,597		
	単位	項目	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					
					年度目標値					
					実績値					
成果指標	衛生研究所における検査可能項目数（環境衛生検査）				年度目標値	196	197	200	202	204
					実績値	196	197	200		
	単位	項目	全体目標値	204	全体目標達成度	98.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%
					年度目標値					
					実績値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	市内における工場・事業場排水及び公共用水域の水質分析を行ったことにより、市民の健康及び生活環境の保全に貢献してきた。また、事業を更に推進し、生活環境等の状況を把握するためにも、分析項目の強化を効率よく進めていくことが必要である。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	